周辺マップ

① **北の御旅所（きたのおやすみさん）**
ヤマトタケルノミコトが上陸した伝説のある場所。

② **八雲地蔵（波除地蔵）**
明治時代から住民達に親しまれてきた地蔵。

③ **札の辻の庚申像**
江戸時代高札場（こうさつば）だった場所で、波除けや無病息災を祈願して建てられた。

④ **小泉八雲滞在の家跡**
小泉八雲は夏になると焼津を訪れ、浜通りに滞在していた。

⑤ **服部家**

⑥ **マルハチ（左）・ぬかや（右）**
どちらも焼津で長い歴史を持つお店。

アクセス

所在地　焼津市城之腰119-1

電車の場合
JR焼津駅下車（JR静岡駅から約13分）
新幹線で、東京・名古屋から約60分～約90分で
JR静岡駅に到着。
焼津駅から服部家まで徒歩約18分。

車の場合
出口：焼津IC
（東京・名古屋から約100分～約110分）
焼津ICから服部家まで約10分

うみたびやまたび

懐かしさに、会いにきて。

静岡県の中部に位置する焼津市。焼津市は歴史ある港町で味わえる、
どこか懐かしい癒しの旅をご提案します。
せわしない観光とは違う、故郷に帰ったときのような、
そんなゆったりとした懐かしさに会いにきてください。

Webサイトはこちら
https://umitabi-yamatabi.jp

発行：焼津市政策企画課　　問合せ先：054-626-2141

さかなのまち
焼津の歴史を感じる
海の賑わい交流拠点

浜通り服部家

浜通りの歴史的街並み

浜通りとは

浜通りは、駿河湾沿岸に沿って南北に伸びる街道とその街道を中心に形成された南北約1.5㎞、東西に約0.6㎞の細長い集落を指す名称です。この浜通りを中核に遠洋漁業の発展など様々な歴史や文化が息づいており、「焼津水産業発祥の地」と呼ばれている地域です。

服部家の 昔 と 今

外観

外観は、服部家の趣を残しながら改修しました。

玄関口付近

玄関口の風情あるカウンターや建具は、昔のままを再現しました。

厨房

広くあった厨房は、外構と一体的に活用できるようにリノベーションしました。

土間

間口が狭く、奥行きが長い浜通り特有の構造を活かし、昔のままを再現しました。

服部家とは

服部安次郎翁ブロンズ座像（資料館蔵）

服部家とは、焼津水産業の発展に寄与した焼津水産翁の一人である「服部安次郎」氏の生家です。
間口が狭く、奥行きが長いほか、屋根の勾配が緩いなど、浜通り特有の伝統的な構造で建てられた歴史的建造物です。
服部家は、焼津水産業発祥の地「浜通り」を活性化するため、海の地域資源を活かした賑わい交流拠点として地域に愛される施設を目指します。

佐藤道外「焼津街並往来絵図」

焼津神社の石碑

施設の特徴

服部家の趣を残すため、伝統的な工法を用いてリノベーションしました。
服部家で用いた伝統工法を紹介します。

金輪継ぎ（かなわつぎ）

日本の伝統的な建築技術の1つに、金物を使わず木と木をつなげる「継手（つぎて）」という技があります。そのうち、特に高い強度を得たいときに使われるのが金輪継ぎです。

竹小舞土壁（たけこまいつちかべ）

細く割いた竹を格子状に組み縄でしばり、そのうえに土を塗って仕上げる壁のことをいいます。土壁の内部は弱アルカリ性に保たれるため、内部が空気に触れなければ、長い期間リユースが可能です。

2階部屋

屋根の勾配が緩い浜通り特有の構造を残しながら、風情ある部屋を再現しました。